

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	犬学	学科名	メディカルトリマー学科			授業方法	講義
担当教員	山中 一馬	学年・学期	2年・通年	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	ペットと共生するために必要な知識を得て、飼い主やクライアントとのコミュニケーションに繋げる。犬に関する内容を主とし、犬種について、体格・組織について、しつけについてなどを学ぶ。またペットに関する時事ニュースに触れ、個々で考えることで各自の意見を出し合う場とする。時代が求める「動物愛護精神」を培う授業を展開する。						
到達目標	・ペットと共生することの本質を考え、授業や試験で意見が述べられるようにする。 ・学んだ内容を動物看護学、ペット美容実習、基礎訓練実習など実習科目に繋がられるように、各教科とリンクさせ、実践できる場で理解を深めさせる。						
授業計画・内容							
第1週	講義ガイダンス		第16週	前期試験の復習			
第2週	動物保護施設見学について		第17週	ペット飼養にかかる費用①			
第3週	もしもに備えた災害対策①		第18週	ペット飼養にかかる費用②			
第4週	もしもに備えた災害対策②		第19週	犬体デッサン(造形美術)			
第5週	犬体デッサン(造形美術)		第20週	ドッグショー見学について①			
第6週	ペットとの別れ①		第21週	ドッグショー見学について②			
第7週	ペットとの別れ②		第22週	ドッグショー振り返り			
第8週	殺処分ゼロに向けて①		第23週	ドッグマッサージ・いぬのつぼ			
第9週	殺処分ゼロに向けて②		第24週	犬体デッサン(造形美術)			
第10週	愛玩動物協会DVD「猫の飼養と習性」ビデオ講座・内容補充解説		第25週	生体販売における価格設定①			
第11週	多頭飼いのメリット・デメリット①		第26週	生体販売における価格設定②			
第12週	多頭飼いのメリット・デメリット②		第27週	犬体デッサン(造形美術)			
第13週	犬体デッサン(造形美術)		第28週	飼養統計調査について①			
第14週	骨格・筋肉など構造についての復習		第29週	飼養統計調査について②			
第15週	前期のまとめ		第30週	後期のまとめ			
評価方法	前期・後期試験の得点を基本とし、状況に応じて授業態度や出席状況を考慮し評価する。						
教科書 教材など	一般社団法人 ジャパンケネルクラブ監修 インターズー発行 最新犬種図鑑 他関連書籍						
実務経験	ペットショップ勤務経験あり				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	ペット美容実習Ⅱ	学科名	メディカルトリマー学科			授業方法	実技
担当教員	坪井 紫月 ・ 北川 俊輔 他	学年・学期	2年・通年	時間数	480 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	動物業界で必要な知識をトリミングを通して学びます。 授業は、ペット美容実習Ⅰで学んだことを応用しより実践的なトリミング実習を行います。 即戦力になれるトリマーを目指す第二段階の授業になります。						
到達目標	全国動物専門学校協会トリマーライセンス2級1級の取得 JKCTリマーC級の取得						
授業計画・内容							
第1週	プードルのケネル&ラムクリップについて①		第16週	プードルのスタンダードについて①			
第2週	プードルのケネル&ラムクリップについて②		第17週	プードルのスタンダードについて②			
第3週	プードルのケネル&ラムクリップについて③		第18週	プードルのペットクリップについて①			
第4週	プードルのケネル&ラムクリップについて④		第19週	プードルのペットクリップについて②			
第5週	プードルのケネル&ラムクリップについて⑤		第20週	プードルのペットクリップについて③			
第6週	ブラッキング犬種について		第21週	プードルのペットクリップについて④			
第7週	ミニチュア・シュナウザーのスタンダードについて		第22週	プードルのペットクリップについて⑤			
第8週	ミニチュア・シュナウザーのサマーカットについて		第23週	プードル試験対策①			
第9週	スイニング犬種について		第24週	プードル試験対策②			
第10週	アメリカン・コッカー・スパニエルのスタンダード		第25週	プードル試験対策③			
第11週	アメリカン・コッカー・スパニエルのサマーカット		第26週	プードル試験対策④			
第12週	シザーリング犬種について		第27週	プードル試験対策⑤			
第13週	ビションフリーゼのスタンダードについて①		第28週	プードル試験対策⑥			
第14週	ビションフリーゼのスタンダードについて②		第29週	プードルアレンジカットについて①			
第15週	プードルについて		第30週	プードルアレンジカットについて②			
評価方法	筆記試験・実技試験・小テスト						
教科書 教材など	一般社団法人ジャパンケネルクラブ発行 グルーミングマニュアル						
実務経験	JKC公認A級トリマー（北川）				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	トリミングサロン実習	学科名	メディカルトリマー学科			授業方法	実技
担当教員	岸本 結 ・ 横井 真帆	学年・学期	2年・通年	時間数	150 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	トリミング業界で必要な知識や接客の仕方について授業の中で実践的に学ぶ。						
到達目標	就職に役立つ知識や接客マナーを身に付け、就職先で自信をもって接客できるようにすることが目的。						
授業計画・内容							
第1週	接客対応①		第16週	ハーブパック①			
第2週	接客対応②		第17週	ハーブパック②			
第3週	接客対応③		第18週	ハーブパック③			
第4週	お迎え、電話対応①		第19週	泥パック①			
第5週	お迎え、電話対応②		第20週	泥パック②			
第6週	お迎え、電話対応③		第21週	泥パック③			
第7週	オゾンシャワー①		第22週	リボン・チョーカー作成①			
第8週	オゾンシャワー②		第23週	リボン・チョーカー作成②			
第9週	オゾンシャワー③		第24週	リボン・チョーカー作成③			
第10週	炭酸泉①		第25週	リボン付け練習①			
第11週	炭酸泉②		第26週	リボン付け練習②			
第12週	炭酸泉③		第27週	リボン付け練習①			
第13週	泡パック①		第28週	デザインカット①			
第14週	泡パック②		第29週	デザインカット②			
第15週	泡パック③		第30週	デザインカット③			
評価方法	授業態度や出席状況を考慮し評価する。						
教科書 教材など	ドッググルーミングマニュアル教本						
実務経験	サロン経験12年(横井) 4年(岸本)				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	動物看護学	学科名	メディカルトリマー学科			授業方法	講義
担当教員	山中 一馬 ・ 上田 洋平	学年・学期	2年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	メディカルトリマーに求められる最低限必要な動物看護の知識を学ぶ。 トリマーとして、動物看護師として、ペットショップスタッフとして飼い主（クライアント）に対し、わかりやすい言葉で説明するためには、まずは自身がきちんと理解をし、それを飼い主のレベルに合わせて説明が出来なければならないので、インプットしたら口語でアウトプットできるような授業を展開する。 学校医である獣医師による応用授業や看護実習授業を盛り込み、現場で行う看護授業を意識して行う。						
到達目標	・健康管理を優先に、有事に備えた適切な看護法を学び、授業や試験で意見が述べられるようにする。 ・学んだ内容をペット美容実習、基礎訓練実習、ペット栄養管理学など実習科目に繋がられるように、各教科とリンクさせ、実践できる場で理解を深めさせる。						
授業計画・内容							
第1週	講義ガイダンス（山中）		第16週	前期試験の復習（山中）			
第2週	バイタルチェックの再確認（山中）		第17週	耳の病気・目の病気（山中）			
第3週	ワクチンについて（山中）		第18週	動物病院での基礎知識①（山中）			
第4週	学園犬ワクチン接種実習（上田）		第19週	動物病院での基礎知識②（山中）			
第5週	犬のアレルギーについて①（山中）		第20週	検便・検尿実習（上田）			
第6週	犬のアレルギーについて②（山中）		第21週	愛玩1級テキスト抜粋授業①（山中）			
第7週	犬のアレルギーについて③（山中）		第22週	愛玩1級テキスト抜粋授業②（山中）			
第8週	主な皮膚の病気①（山中）		第23週	デンタルケア（上田）			
第9週	主な皮膚の病気②（山中）		第24週	グリーフケア①（山中）			
第10週	薬用シャンプーについて①（山中）		第25週	グリーフケア①（山中）			
第11週	薬用シャンプーについて②（山中）		第26週	泌尿器・生殖器疾患（山中）			
第12週	薬用シャンプーについて③（山中）		第27週	ファーストエイド（応急処置）①（山中）			
第13週	採血受集前の予備知識（上田）		第28週	ファーストエイド（応急処置）②（山中）			
第14週	採血実習（上田）		第29週	担当内容の総まとめ・演習（上田）			
第15週	前期のまとめ（山中）		第30週	担当内容の総まとめ・演習（山中）			
評価方法	前期・後期試験の得点を基本とし、状況に応じて授業態度や出席状況を考慮し評価する。						
教科書 教材など	・インターズー発行 めざせ早期発見！わかる犬の病気 他 関連書籍を参考にプリント作成						
実務経験	こくたいちょう動物病院 院長 獣医師（上田） 認定動物看護師・ペットショップ勤務経験あり（山中）				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	動物飼養管理実習	学科名	メディカルトリマー学科			授業方法	実技
担当教員	大月 敬子 ・ 田淵 愛実	学年・学期	2年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	将来犬業界に就職した時に役立つ犬の一般常識を学ぶ。 各犬種の特徴や性格を理解しながらドッグトレーニングを学びます。						
到達目標	一般家庭犬に必要な訓練知識・技術の習得						
授業計画・内容							
第1週	犬のしつけについてⅡ		第16週	犬種についてⅡ			
第2週	犬の訓練についてⅡ		第17週	犬のしつけトレーニングⅡ-⑤			
第3週	犬の安全な扱い方についてⅡ-①		第18週	犬のしつけトレーニングⅡ-⑥			
第4週	犬の安全な扱い方についてⅡ-②		第19週	犬のしつけトレーニングⅡ-⑦			
第5週	カーミングシグナルⅡ-①		第20週	犬のしつけトレーニングⅡ-⑧			
第6週	カーミングシグナルⅡ-②		第21週	犬のしつけトレーニングⅡ-⑨			
第7週	犬の習性についてⅡ-①		第22週	問題行動についてⅡ-①			
第8週	犬の習性についてⅡ-②		第23週	問題行動についてⅡ-②			
第9週	犬のしつけトレーニングⅡ-①		第24週	問題行動についてⅡ-③			
第10週	犬のしつけトレーニングⅡ-②		第25週	問題行動についてⅡ-④			
第11週	犬のしつけトレーニングⅡ-③		第26週	問題行動についてⅡ-⑤			
第12週	犬のしつけトレーニングⅡ-④		第27週	問題行動についてⅡ-⑥			
第13週	トレーニング実技テストⅡ-①		第28週	トレーニング実技テストⅡ-④			
第14週	トレーニング実技テストⅡ-②		第29週	トレーニング実技テストⅡ-⑤			
第15週	トレーニング実技テストⅡ-③		第30週	トレーニング実技テストⅡ-⑥			
評価方法	定期試験・実技試験・小テスト 上記試験・出席・授業態度等により総合的に評価する。						
教科書 教材など							
実務経験	「犬のこんしえるじゅ プラスわん」 代表 田淵 愛実				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	ペット経営学		学科名	メディカルトリマー学科			授業方法	講義
担当教員	山中 一馬		学年・学期	2年・通年	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	ペット業界で働くうえで必要な接客態度やマナー、衛生管理方法を学ぶ。 独立希望者はもちろん、雇用関係にある者として業界が求める接客テクニックや売上アップの思考、組織内での協調性などをいかにして保つか、向上させるかを考え、実践できるようにロールプレイング形式の授業を行う。							
到達目標	現場が求める対話力を授業の中で培い、そのために必要なコミュニケーションツールとなる情報や、考え方、顧客目線でのアプローチ方法など表現できるようになり、筆記試験でも思考した事を文字に表現できるようになる。 現場で培う実践力(技術力)が備わる前に求められる顧客へのアプローチが自信持って出来るようになる。							
授業計画・内容								
第1週	講義ガイダンス			第16週	前期試験の復習			
第2週	生体販売業務とその流れ①			第17週	ショップ＆サロンの顧客管理①			
第3週	生体販売業務とその流れ②			第18週	ショップ＆サロンの顧客管理②			
第4週	生体販売業務とその流れ③			第19週	ショップ＆サロンの顧客管理③			
第5週	生体販売業務とその流れ④			第20週	店の特徴を整理する方法(SWOT分析)①			
第6週	ショップでの接客の基本と実際①			第21週	店の特徴を整理する方法(SWOT分析)②			
第7週	ショップでの接客の基本と実際②			第22週	マーケティングの基本を学ぶ①			
第8週	ショップでの接客の基本と実際③			第23週	マーケティングの基本を学ぶ②			
第9週	ペットショップの販売に関する基礎知識①			第24週	マーケティングの基本を学ぶ③			
第10週	ペットショップの販売に関する基礎知識②			第25週	集客方法について考える①			
第11週	ペットショップの販売に関する基礎知識③			第26週	集客方法について考える②			
第12週	店舗のオペレーションとマネジメント①			第27週	集客方法について考える③			
第13週	店舗のオペレーションとマネジメント②			第28週	クチコミの活用方法①			
第14週	店舗のオペレーションとマネジメント③			第29週	クチコミの活用方法②			
第15週	前期のまとめ			第30週	後期のまとめ			
評価方法	前期・後期試験の得点を基本とし、状況に応じて授業態度や出席状況を考慮し評価する。							
教科書 教材など	・インターズー発行 ペットショップ(実践編) 他 関連書籍を参考にプリント作成							
実務経験	ペットショップ勤務経験あり					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	ペット栄養管理学	学科名	メディカルトリマー学科			授業方法	講義
担当教員	山中 一馬	学年・学期	2年・通年	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	そもそも栄養とは一体何なのか、犬や猫は人どのように違うのか、ペットフードとはどのようなものなのか、どうやって選び与えるのが良いのか、病気になったら食事はどうすべきなのかなと、食事についての在り方を学び、犬や猫の健康管理に最低限必要な知識を学習し、食事管理の重要性を理解する。						
到達目標	・健康管理を優先に、有事に備えた適切な食事管理法を学び、授業や試験で意見が述べられるようにする。 ・就職先で取り扱うペットフードやおやつなどを自信持って説明が出来るようになるために、商品知識を増やし、さまざまな質問に対しても回答が出来るよう接客ロールプレイング(ペット経営学にて)を実施し、ペットフードアドバイザーとして活躍できる人材にする。						
授業計画・内容							
第1週	講義ガイダンス		第16週	前期試験の復習			
第2週	ペットフードの選択①		第17週	エネルギー要求量①			
第3週	ペットフードの選択②		第18週	エネルギー要求量②			
第4週	ペットフードの選択③		第19週	エネルギー要求量③			
第5週	自宅ペットのフード調査発表①		第20週	ビタミンについて①			
第6週	自宅ペットのフード調査発表②		第21週	ビタミンについて②			
第7週	自宅ペットのフード調査分析①		第22週	犬の一般食研究①			
第8週	自宅ペットのフード調査分析②		第23週	犬の一般食研究②			
第9週	ペットが食べたら危険な食べ物①		第24週	犬の療養食研究①			
第10週	ペットが食べたら危険な食べ物②		第25週	犬の療養食研究②			
第11週	ペットが食べたら危険な食べ物③		第26週	就職先のおすすめフード調査発表①			
第12週	6大栄養素		第27週	就職先のおすすめフード調査発表②			
第13週	水の重要性		第28週	フードアドバイスQ&A①			
第14週	犬のおやつを作ってみよう(実習)		第29週	フードアドバイスQ&A②			
第15週	前期のまとめ		第30週	後期のまとめ			
評価方法	前期・後期試験の得点を基本とし、状況に応じて授業態度や出席状況を考慮し評価する。						
教科書 教材など	・緑書房発行 犬と猫の栄養学 他 関連書籍を参考にプリント作成						
実務経験	ペット栄養管理士資格あり。ペットフード製造に携わった経験あり。				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	校外研修	学科名	メディカルトリマー学科			授業方法	実習
担当教員	山中 一馬	学年・学期	2年・前期	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	就職を希望する企業で職場体験をさせて頂く。 全日程の就業時間が30時間以上になるように受入日数を調整。 複数の企業へ参加を希望する場合は、1事業所の就業時間が30時間に満たない場合であっても、 合算して30時間以上になれば評価対象とする。						
到達目標	希望する企業への内定を獲得する。業界内定を目指す。						
授業計画・内容							
第1週	事前に研修前講義を受け、就職活動に向けての心構えを確認させる。 必要な書類の記入、記入方法などを確認する。 全日程の就業時間が30時間以上になるように受入日数・受入れ時間を調整し、 就職を希望する企業で職場体験をさせて頂く。 複数の企業への現場体験を希望する場合は、 各1事業所の就業時間が30時間に満たない場合であっても、 その他の実習時間を合算して30時間以上になれば評価の対象とする。						
第2週							
第3週							
第4週							
第5週							
第6週							
第7週							
第8週							
第9週							
第10週							
第11週							
第12週							
第13週							
第14週							
第15週							
評価方法	企業からの学生評価をもとに点数化して評価する。 企業訪問時に担当者からヒアリングした内容も加味して評価する。						
教科書 教材など	特に無し						
実務経験	ペットショップ店長経験あり				実務経験のある教員による 授業科目		✓